



NPO 法人 こども・コムステーション・いしかり [北海道]

—コロナの状況下にあっても、必要な学習支援を受けられる機会の提供

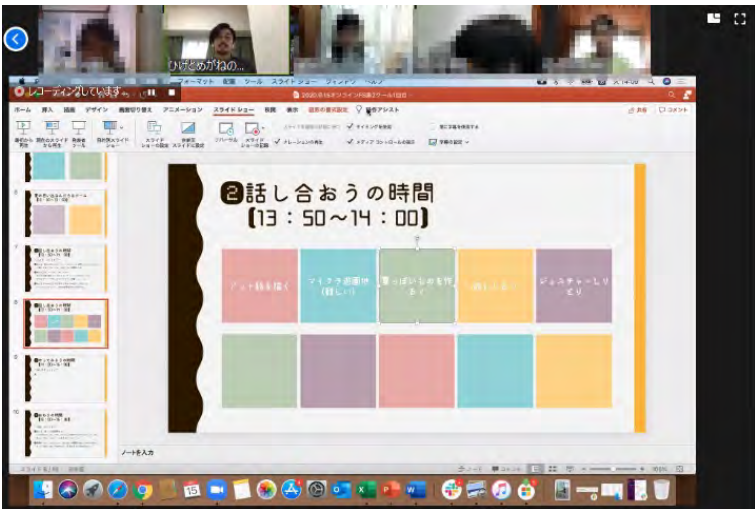
○団体の主な活動内容	○活動の様子
<p>北海道では感染症拡大防止対策の実施に伴い、子供の学習環境に大きな影響が生じています。休校期間中から学校再開後にかけて、学習塾のオンライン受講や各種教材の入手など、学習の遅れの補完が可能な家庭とそうでない家庭の間での、従来からあった学習格差がより顕著なものとなっていると考えます。そこで、オンラインを用いた学習支援事業へと切り替えました。これによって子供たちの学習意欲や、将来への希望を育む取組を行っています。</p>	 <p>事業開始当初、法人事務所から参加者の自宅と繋いでオンライン授業をしている様子です。オンラインの事業が可能になったことで三密が避けられ安心して事業の実施ができています。子供たちからは「一つ一つ、詳しくわかりやすく教えてくれるから頑張れる」との声がありました。</p>
<p><子供の未来応援基金の支援による活動紹介></p> <ul style="list-style-type: none">・従前は学習支援、食事の支援等を実施・オンラインを用いた学習支援の実施に事業を切り替え・オンライン学習支援回数 週2回/1人当たり利用・オンライン学習は Web 会議サービスのツールを使用・講師は教職課程在籍の大学生が務める・法人事務所で大学生との会議を行う場合は検温、アルコール消毒、マスク着用の上ソーシャルディスタンスを徹底して実施	
○団体ホームページ等	
http://comstation.sakura.ne.jp/	

NPO 法人 秋田たすけあいネットあゆむ [秋田県]

— 食糧支援、学習支援、生活支援を通して、誰もが秋田で心豊かに暮らせる社会を


○団体の主な活動内容	○活動の様子
<p>親の収入減や生活費の増加により、特にひとり親世帯は苦しい状況にあります。そこで、生活困窮状態にある親子を食で支え、の居場所を目的に、フリースクールや無償で学べる夜の学習塾を実施し、平日の居場所フリースクールの無償化、受験を控え塾に通えない状態の中学三年生を対象にして無償で夜の学習塾を新たに実施します。</p>	
<p><子供の未来応援基金の支援による活動紹介></p> <ul style="list-style-type: none">・従前は学習支援、食事の支援等を実施していた。・コロナ禍において無償のお弁当配布、配布の際にフードパントリーを実施。・平日の子供たちの居場所となるフリースクールの利用料を無償化。・従前の学習室に加え、感染症対策を講じた無料の学習塾を実施する。・月2回お弁当配布。月2回フードパントリーの実施。週3回学習塾を実施。	<p>コロナ禍で生活困窮状態に陥るひとり親が増え、食糧支援の他に休止している子供食堂の代わりにお弁当を提供し、フードパントリーも実施。多くの親子がお弁当提供を楽しみにしている。</p>
○団体ホームページ等	
<p>https://blog.goo.ne.jp/akitatasukeai</p>	

NPO 法人 寺子屋方丈舎 [福島県] — 子供の社会参画をサポートし、格差のない学びの提供

○団体の主な活動内容	○活動の様子
<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、県内 23 カ所ある子供食堂の活動休止や長期休校などを受け、子供たちは居場所を失いつつあります。また、子供だけでなく保護者も不安を感じており、自分を受け入れてもらえる場が必要になっていると考えます。そこでアフターコロナの学びを考え、オンラインでの学習支援を通じて経済格差のない学びの実践につなぐことができると考えます。</p>	 <p>オンラインによるフリースクールの様子。 自宅から参加することができ、人と接することなく交流できる場。会いに行くことはできなくても、顔を見て話せることは大事。</p>
<p><子供の未来応援基金の支援による活動紹介></p> <ul style="list-style-type: none">・オンライン自習室と雑談室を運営。(不定期開催)・オンラインによるフリースクールの開催。(週 1 日実施)・拠点型の学習支援の実施(週 4 日実施)。・オンライン・拠点型の相談会の実施(月 1~2 回)。・当団体の職員は感染予防及び衛生管理を徹底し、常時マスク着用で対応。手洗い、うがい、検温を毎日実施。他、1 時間おきの換気の徹底と、加湿器の設置による乾燥対策も実施。・子供の来室時に、検温等の健康状態の確認、手洗いの励行。・密集をさけるために、時間帯による出席者の限定。・テーブル席数を増設し、分散して利用できる体制の構築・ボランティアを固定化し、個々のニーズに対応できるよう分担。	
○団体ホームページ等	
<p>https://www.terakoyahoujyousha.com/</p>	






一般社団法人 子供プラス未来 [千葉県]

—「病気や貧困等の困難を抱える子供と家族に社会体験」の機会を提供—

○団体の主な活動内容	○活動の様子
<p>従前実施していた子供食堂の事業を新型コロナウイルス感染症下で緊急的に実施したところ、再開を求める声が多くありました。事業実施を行う地域周辺には子供食堂がなく地域での継続した支援活動が求められています。そこで、上記感染症の影響で新たに生活困窮状態となった家庭を支援するため、キッチンカーによる食事の支援や子供食堂における弁当の配布等、より広い地域で子供を支援する活動を行います。</p>	 <ul style="list-style-type: none">• キッチンカーで移動する子供食堂「こどもらフードキャラバン」を開催。• 屋外で開催するため安全です。• コロナ禍でイベントが減っている中、子供たちもキッチンカーに大喜びです。
<p><子供の未来応援基金の支援による活動紹介></p> <ul style="list-style-type: none">• キッチンカーでの無料の食事テイクアウト等の開催。• 子供食堂拠点を増やし、弁当の無料配布及びフードパントリーの実施。(毎月1回。2020年7月～2021年3月までの9ヶ月(計18回)開催)• 食糧支援の相談窓口の設置及び食品の提供。	
○団体ホームページ等 https://www.kodomira.or.jp/	


NPO 法人 維新隊ユネスコクラブ [東京都]

—「子供たちにとって安心できる学習環境の利用」の機会を提供

○団体の主な活動内容	○活動の様子
<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、多くの小・中学校が休校となり、それぞれの学校ごとに授業の対応でばらつきが見受けられることから、「新学期からの教科書の内容がわからない」「受験を控えていて不安だ」との声が寄せられています。そこで、これまでの事業で得たノウハウを活かし、今般新たに拠点を構え①インターネットを通じた個別指導塾形態での無料学習指導、②オフラインおよびオンラインでの無料自習室の展開を行います。この活動によって地域差における教育格差是正の一助となると考えます。</p>	 
<p><子供の未来応援基金の支援による活動紹介></p>	
<ul style="list-style-type: none">・オンライン学習支援の実施（週1回約1時間30分）。・長期間の不登校による精神不安等の解消のためのオンラインでのコミュニケーションワークの実施（週1回30分）。・オンライン自習室の運営（毎日9時～17時）。・感染症防止策を講じた食事付無料自習室の運営（平日18時～21時。近隣の小・中学生16名/日まで（1回最大8名、1時間30分交代制））・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため机の間隔を広くとる、交代の度に机や椅子を除菌、利用者及び管理者の入室時の検温と手指の除菌、マスクの着用の義務付け、管理者スタッフに食品衛生管理の指導を行うなどの対策を講じる。	   <p>食事付無料自習室の様子です。塾生は自習室からオンライン授業に参加し、自習の後には食事を摂ることもできます。</p>
○団体ホームページ等	
https://ishintai.org/	

NPO 法人 ウイズアイ [東京都]

—「シングル親の就労・学業支援と精神疾患の親の子育てを応援する事業」

○団体の主な活動内容	○活動の様子
<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、ひとり親や精神疾患で治療中の方々など、家庭保育を余儀なくされ、ストレスが増大し日常生活に支障をきたしている方が少なくないと考えます。そこで、ひとり親の就労・学業支援および精神疾患の親の子育て応援の事業を通じ、夜勤対応の夜間保育や病後児保育ができる場所の確保を行い、母親が安心して治療に専念できる環境整備と子供の精神的な安定を図ることを目指します。</p>	
<子供の未来応援基金の支援による活動紹介>	
<ul style="list-style-type: none">• 平日早朝と夜間の保育、夜勤時のお泊り保育、日曜・祝日の一時保育の実施。• 子育て支援を行う既存事業の施設の部屋を拡充し、病児後保育の実施。• 事業報告書の作成及び関係機関への配布。• 事業実施時の新型コロナウイルス感染症予防対策は以下のとおり。<ol style="list-style-type: none">① 従事スタッフのマスクの着用・うがい・手洗いの徹底。② 従事スタッフ及び保育児童の検温（4時間に1度）実施。③ 使用した寝具類の洗濯・消毒の徹底。④ 食器などは、洗浄・乾燥機にかけ、清潔に保管する。⑤ 食事の際は、バイキング方式ではなく、個別に配膳。⑥ 調理の際は、ビニール手袋の装着。	<ul style="list-style-type: none">• 団体からの声 「施設を拡充したことで、病後児の受け入れができた」 「助成を受けたことで、利用者の負担が少なく、就労を安心して継続できる事を感謝された」• 利用者の声 「夜勤時にも施設が開かれているので、安心して子供を預けて仕事に行けた」 「スタッフの方と頂く食事は、家族を疑似体験できる機会になっていて、子供にとって良い経験の場になっている」• 子供たちの声 「ママと二人だけのご飯はちょっぴりさみしいけど、みんなと一緒に食べるとおいしいね」
○団体ホームページ等	
https://www.with-ai.net/	

NPO 法人 キッズドア [東京都]

—「貧困家庭の子どもを中心に、無料学習会・(学校や家以外の)居場所」を提供

〇団体の主な活動内容

新型コロナウイルス感染予防のために令和2年3月から5月末まで長期の休校となる中、無料学習会や居場所も閉所となり、また学校再開後も、三密を避ける運用のために、十分な学習時間を確保することが難しいという現状がありました。そこで、困窮家庭の子供たちにオンラインによる学習支援を行うことで仮に新型コロナウイルス感染症拡大の第二波、第三波がきても学びが継続できるよう体制の構築を行います。また、子供、保護者、ボランティアへのアンケートやインタビューなどの成果検証を行い、ソーシャルインパクトを測定します。

<子供の未来応援基金の支援による活動紹介>

- ・オンライン学習支援の実施。(週3回 合計75回)なお、並行して感染症対策を講じた学習支援も実施。
 - ・オンライン学習支援のソーシャルインパクトの測定、実践報告書の策定等。
 - ・新型コロナウイルス感染症の感染予防に関するマニュアルを作成し、全ての学習会や居場所で感染症予防の徹底。
- <主な対策例>
- ・スタッフおよびボランティアの出勤前の検温及び体調チェック、参加する子どもの参加時の体温チェック(非接触型体温計)、体調や咳、味覚などについてのチェック。
 - ・来室時の手洗い、手指アルコール消毒、マスク及びフェイスシールドの着用、学習会開始前の消毒など。
 - ・密にならない座席配置、定員の減収、教室の換気の徹底など。

〇活動の様子

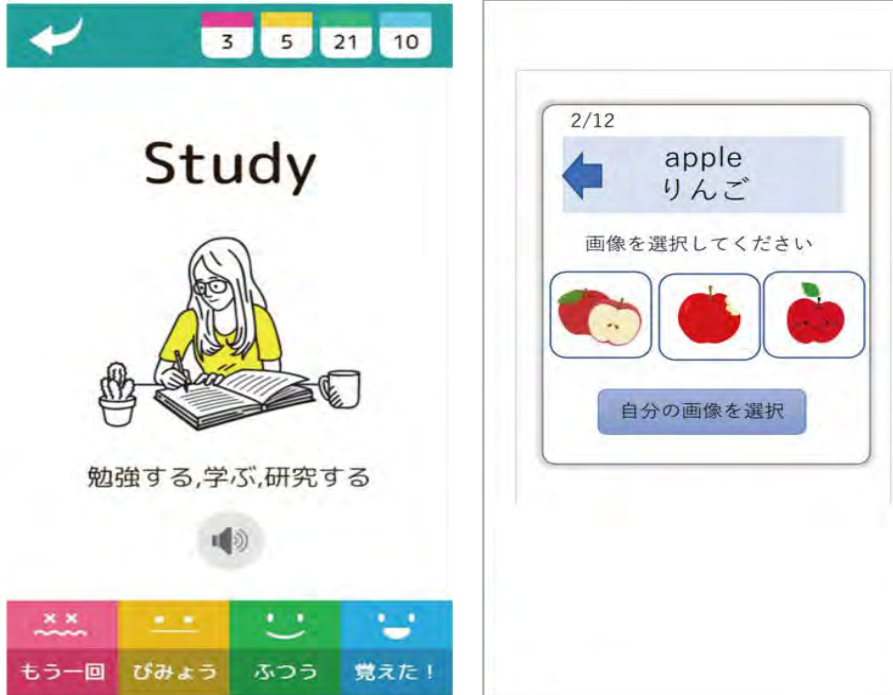


オンライン実践は、新型コロナウイルス感染症対策はもちろん、悪天候や遠方のボランティアの参加など、今までよりもより柔軟な支援が可能になり、また子供にとってもコロナ禍で学校に行けなかった中、支えになっています。


〇団体ホームページ等

<https://kidsdoor.net/>


NPO 法人 3keys [東京都] —すべての子供の権利が保障される社会を目指す

○団体の主な活動内容	○活動の様子
<p>3keys はこれまで、児童養護施設や母子生活支援施設と連携し、虐待や育児放棄などで十分な学習環境がない状況で育ってきた子供たちの低学年からの学習サポートをしてきました。今回新型コロナウイルスの影響によって、感染拡大防止の観点から上記施設に訪問ができず直接支援を行えない状況が続いていたため、かねてから要望が上がっていた小学生英語について、オンラインで学習できるWEBサイトを制作します。</p>	
<p><子供の未来応援基金の支援による活動紹介></p>	<p>※現時点でのイメージになります</p>
<ul style="list-style-type: none"> これまで継続的に支援してきた施設の声を取り入れ、英単語のオンライン学習教材を制作。広報について、児童相談所等はメールでのお知らせが難しいため、原則郵送。その際に郵送作業のスタッフの衛生面の徹底管理を行う。 制作したオンライン教材を児童養護施設や一時保護施設などに無料で公開し展開していく。今後はスマートフォンのアプリ版としてリリースしていき、より多くの子供たちが使えるよう拡大を目指す。 教材制作における制作会社との打ち合わせは基本的にオンラインにて実施すると同時に、スタッフも十分ソーシャルディスタンスを保ち三密を避ける。 	<p>学習サイトのこだわりの一つとして、子供が自分で単語のイメージに合った画像を選択できる仕様にする予定です。それによりイメージと日本語、英単語の一致をやすくし、しっかりと学習を定着させることができるものを目指しています。</p>
<p>○団体ホームページ等</p>	
<p>https://3keys.jp/</p>	

一般社団法人 ハイコラ [東京都] —「子育ては地域で 社会全体で」


○団体の主な活動内容	○活動の様子
<p>新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、私たちが実施している相談窓口には、親が職を失った為に子供の食事や教育に不安を抱える相談が増えています。特に困窮家庭では子供の食費が家計を圧迫し、さらには就職難のために子供の就園・就学時間を考慮した就労が叶わず、子供の食事が準備できないといった相談が後を絶ちません。そこで地域が一丸となって困窮家庭を金銭面・精神面で支援するため、格安弁当の提供事業を行います。</p>	 <ul style="list-style-type: none">・ 団体の声 「コロナ禍において苦しむ親子に、格安で栄養価の高いお弁当を提供することができた」・ 利用者や子供たちからの声 「コロナの影響で就労体制が変わり、食事を作れずにいたので大変助かった。」
<p><子供の未来応援基金の支援による活動紹介></p> <ul style="list-style-type: none">・ 健康的で栄養を考えた格安のお弁当を製作・提供する。・ 新型コロナウイルスの影響で子育て環境が大きく変わったために、悩みを抱えた親を対象とする相談窓口を開設する。・ 新型コロナウイルス感染拡大予防のため、製作・販売側の対策は以下のとおり。<ul style="list-style-type: none">○換気扇等を利用し、定期的に外気を取り入れる。○弁当販売時に密集場所とならないよう、予約時に受け取り時間を調整し、1時間ごとに最大10組までとする。○販売員はマスクを着用し、こまめに消毒する。○店内のアルコール消毒や従業員の手洗いを徹底。○販売場所となる各店舗従業員の体調管理。○出勤時や従事前の健康チェックを行い、体温測定や呼吸器症状等の自覚症状の確認。・ 利用者側への対策は以下のとおり。<ul style="list-style-type: none">○予約の際には体調不良者の利用は遠慮してもらうよう、あらかじめお願いをする。○長居にならないよう商品受け取り後は速やかな帰宅の周知。○販売予約サイトにて、お弁当引き取り時にはマスクの着用願いの記載。	<p>○団体ホームページ等</p> <p>https://mamaworks.jimdofree.com/</p>

NPO 法人 パルシック [東京都] — 「みんかふえ」 コロナ禍の困窮した子供に「食と遊び」の機会を提供


○団体の主な活動内容	○活動の様子
<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、地域の方々から「仕事がなくなり先が見えない」「収入がなくなった」という声が寄せられました。また、子供達がイライラする、不機嫌な態度を見せるなど、これまでとは異なる様子が伺えました。子供が解放的になって遊ぶ機会が必要であると同時に、環境が変わり、精神的にひっ迫した親が子供と離れて休める時間を作ることが求められています。経済的に困窮した世帯を対象としたお弁当や食料の配付、および環境の変化によるストレスを抱えた子供を対象として、野外での遊び活動を実施します。</p>	
<p><子供の未来応援基金の支援による活動紹介></p> <ol style="list-style-type: none">1. 夕食のお弁当の配付 経済的に困窮した世帯や、ひとり親世帯などを対象にお弁当を週3回配付。配付する際は子供達の様子に気になることがないかを確認。お弁当を「みんかふえ」で食べたいと希望する子供については居場所としても利用可能。2. 食料の無料配付 特に経済的に困窮した世帯を対象として、お米やレトルト食品、缶詰などを配布。3. ストレス軽減のための、子どもの野外遊び 潜在的なストレスを抱えていると思われる子供を対象に、月に1回、野外での遊びの機会を提供。4. 新型コロナウイルス感染症予防のため、「みんかふえ」施設入口でお弁当や食料を配付。受け渡し時以外も職員は常にマスクを着用し、手洗いや消毒を行う。「みんかふえ」内の利用を希望する子供に対しては、手洗いやうがいをしてもらい、検温チェックを実施するとともに、室内が密な状況にならないよう管理している。	<p>支援を受け、お弁当・食料配付や野外遊び支援など事業の充実が図れています。</p> <p>子供たちからは「外遊び、楽しかった!」「また(ボランティアのお姉さんと)遊びたいな!」といった声がありました。</p>
<p>○団体ホームページ等</p>	
<p>https://mincafe.parcic.org/</p>	

NPO 法人 ICTサポート銀のかささぎ [長野県]

— 「ICT を使った学習」の機会を提供し、学力格差のない社会を目指す


○団体の主な活動内容	○活動の様子
<p>当団体は児童養護施設や子供食堂でタブレットを使った学習支援を行っていますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大勢で集まる学習支援が中止になりました。施設や子供食堂の子供たちの家庭はタブレットやパソコンがなく、オンライン学習を行うには不十分な環境であり、子供の学習機会が喪失されていると感じています。そこで、子供食堂や児童養護施設の子供たちにタブレットを貸し出し、一人ひとりに合った学習プログラムをコーディネーターがアドバイスするなどして子供たちに寄り添った学習支援を行います。</p>	 <ul style="list-style-type: none">・子供たちの声 「オンラインで学習するのも新鮮で楽しいけれど、コロナでも子供食堂でいつも通り参加するのも楽しい」
<p><子供の未来応援基金の支援による活動紹介></p> <ul style="list-style-type: none">・子供食堂等の子供たちへオンライン学習の実施。(2020年8月～2021年3月。既存の3拠点とオンライン上にて実施。)・オンライン学習に係る人材育成の実施。(2020年7月～9月。各月1回。計3回)・タブレットの貸出しをする際には、使用方法や学習の進め方の説明会を行うが、その際には、換気を行い、マスクの着用、体温の測定、手洗い、消毒を行ってから説明会を実施する等の工夫を行う。	
<p>○団体ホームページ等</p> <p>https://www.i-kasasagi.com/</p>	

認定NPO法人 フードバンク信州 [長野県] — 「食」を通してコロナに負けない子供たちの元気を応援


○団体の主な活動内容	○活動の様子
<p>新型コロナウイルス感染症対策による学校の一斉休校などの影響により、子供のいる世帯で食料が不足する困窮家庭が増加し、活動している地域の食料支援ニーズが通常の約2倍となりました。昨年まで夏休みと冬休み中に地域を限定して、希望する世帯に食料を提供していた「子供のいる世帯を食で応援する事業」を、新型コロナウイルス感染症への緊急対応策として事業実施期間を延長、地域を限定せずに県内全域を対象に継続的に実施します。</p>	
<p><子供の未来応援基金の支援による活動紹介></p> <ul style="list-style-type: none">• 子供のいる家庭で食料支援を希望する世帯から直接申し込みを受けて、食料を個別に郵送する。募集は関係機関からの周知及びHPに情報掲載。• 食料を手渡し配布ではなく、フードバンクから個別郵送することはコロナ禍の安全対策として有効な手段と思われる。• 支援用の食料を調達するため、プロジェクトに協賛する地域や企業・団体に「コロナに負けないフードドライブ」の開催を呼び掛け、活動の普及を図る。	<p>発送には作業場所の消毒等の安全管理に配慮し、各世帯への食料の箱詰めを行い郵送。アンケートでは「送られた食品に満足した」との回答が9割を超えた。</p>
○団体ホームページ等	
<p>http://foodbank-shinshu.org/</p>	

NPO 法人 アヴェニール [愛知県]


—「学んで遊べる子ども食堂を通して地域に根付く食育」の機会を提供

○団体の主な活動内容	○活動の様子
<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ひとり親家庭や生活困窮世帯の家庭が孤立していると考えます。また、相談窓口には「仕事が無くなって収入が無く、生活に困っている」、「休校の影響により、子供の学習の遅れが心配」などの相談が数多く寄せられています。それらを踏まえ、現在実施している子供食堂とは別に、食材の配達、学習支援の場を提供する場所の整備や生活相談に 응じることが急務であると考えています。地域ぐるみで子供を見守り育てていく、あたたかいまなざしがあふれる地域づくりのため、今回の事業を行います。</p> <p><子供の未来応援基金の支援による活動紹介></p> <ul style="list-style-type: none">・寄付をいただいた食材について、フードパントリーを実施し、訪問時には生活相談に 応じる（毎週日曜日・計 36 回）。・開催回数を拡充し学習支援事業を開催。併せて体験学習も実施する（毎週水・土曜日 計 61 回）。 <p><新型コロナウイルス感染症対策の取組></p> <ol style="list-style-type: none">1. ソーシャルディスタンスの徹底。2. 従業者及び対象者等のマスクの着用、手洗い、手指消毒、うがいの徹底、体調チェック。3. フードパントリー時には利用設備・機材等の消毒を行うと共に換気を徹底する。4. 感染の発生に備えた情報収集として、訪問先等の記録を完備する。5. 感染が発生した際の利用者への情報提供として、SNS 等を活用した感染発生状況等の情報提供を行う。	 <p>コロナ禍の中、一人留守番をしている子供をはじめ、生活保護世帯や地域の方々へフードパントリーという形で、お弁当や食品等の配布をしています。</p>
<p>○団体ホームページ等</p> <p>http://npo-avenir.org/npo-avenir/</p>	

NPO 法人 輝 [大阪府] —コロナの影響で生活リズムが乱れた子供達に学びと体験の機会を提供

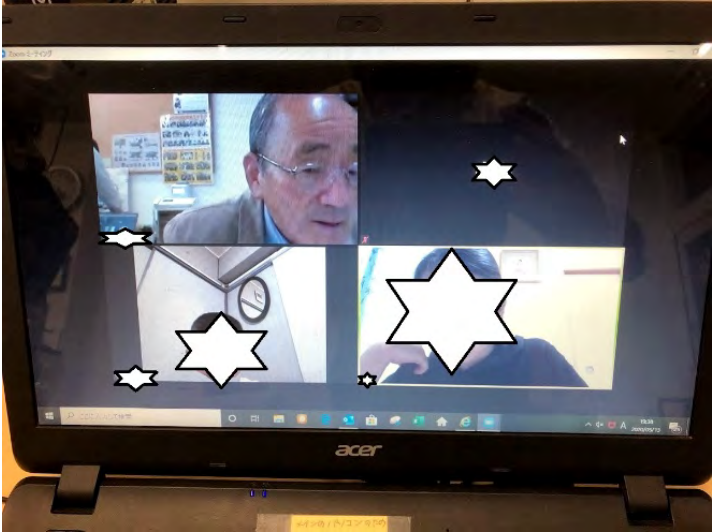
○団体の主な活動内容	○活動の様子
<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、家庭環境面や学習面で大きな困難に直面している子供に対し、無償で勉強場所を提供し、個別学習をサポートしています。具体的には、すでに学校以外の多様な学びを実践している輝（フリースクール）において、空いている時間帯を有効活用して、小中学生（不登校児童生徒に限定しない）に対して、学習支援や心のケアを図る取組や、創作体験活動等を行い、学校以外の学びの場を提供します。</p>	
<p><子供の未来応援基金の支援による活動紹介></p> <ul style="list-style-type: none">対象範囲を広げて新型コロナウイルス感染症対策を講じた学習支援を実施（週2回・各回20名まで）。子供とコミュニケーションをとることで心のケアに取り組み、必要な場合は必要な機関につなげる（週2回・各10名）。読み聞かせ会、科学マジックショー、キャリア教育などの取組み（月2回・各20名）。不特定多数の集団にならないよう、小中学生で時間を分け会員制での実施。子供の健康管理をしっかりと行い、入室前には体温、体調チェックを行う。体調が悪い子供が入室しないように配慮。（体調が悪く入室できなかった子供に対しては、電話等でフォローを行う。）地域の新型コロナウイルスの流行状態を把握しながら、状況を見ながら活動の有無、定員数の変更などを行う。	<p>この写真は、中学生の部の写真です。いただいた支援金で多くの大学生の力を借りることができ、小中学生に対しマンツーマンに近い体制で学習をサポートすることができています。学習に加え、クイズや大学生の話を交えてコミュニケーション能力の向上も図っています。</p>
<p>○団体ホームページ等</p>	
<p>https://npo-kagayaki.org/</p>	

NPO 法人 CPAO [大阪府] —「子どもの食と遊びと学び」の機会を提供

○団体の主な活動内容	○活動の様子
<p>今回の新型コロナウイルス感染症の影響により、三密を避けるため子供食堂は対面型で行うなどの従来の事業実施のあり方が難しくなっています。そこで、経済的・精神的に厳しい状況に置かれている親子を対象に、「孤立の解消」「子育ての社会化（親だけで育てなくてもいい環境づくり）」を目的として、食材の配達や相談支援事業などを実施します。手作りの食事や食材を届ける中で親子のニーズを聞き、それに個別に対応しながら具体的なサポート体制を構築していきます。</p>	
<p><子供の未来応援基金の支援による活動紹介></p> <ul style="list-style-type: none">・ 経済的・精神的に厳しい状況に置かれた家庭に手作りの総菜を届ける（週2～3回・週100食）。・ 食材や野菜等を陳列した車で訪問し届けるとともに、車外での相談業務を実施。・ オンライン授業を受けられる体制を整備し、大学生などが参加して子供の宿題等をみる。・ 週末を利用し、自然体験を実施する。・ 相談依頼のあった家庭には、個別で食・遊び・学びのサポートを行いながら丁寧な関係性を構築し、定期サポートへとつなぐ。・ 掃除や大物の買い出し等、ニーズに合わせた生活支援の実施。・ 対象者と直接対面する訪問時においては、マスクの着用、アルコール除菌の設置、屋外に距離を保ったスペースを設営しての相談業務を行う。・ 車両での移動時においても、スタッフは前列に座り、2列目との間にカーテンを設置。席ごとにアルコール除菌を設置。	<ul style="list-style-type: none">・ 団体からの声 「個々があまりにも違うケースに対して、丁寧に取り組むことができた」・ 子供や親たちの声 「毎週来てくれて話すのが楽しみ」「家にいてもゲームぐらいしかできないから、ずっとCPAOへ行きたい」など
○団体ホームページ等	
https://www.facebook.com/cpao0524	

一般社団法人 タウンスペース WAKWAK [大阪府]

—「食・学び・制度への一体的支援」の機会を提供

○団体の主な活動内容	○活動の様子
<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、生活困窮家庭をはじめとする様々な課題を抱える家庭や子供たちにはより一層緊急かつ継続した支援が必要であると考えます。そこで、オンライン形式と対面形式の併用による個別対応の学習支援の開催や、フードパントリーなどを通じた食の支援と心のケア、そして地域住民のボランティアを組織化し制度が届きづらい層への伴走支援を行うなど、「学び・食・制度への伴走支援」と地域支援を一体的に行います。この事業を通じて地域全体に社会的包摂のセーフティネットを構築していきます。</p>	
<p><子供の未来応援基金の支援による活動紹介></p>	<ul style="list-style-type: none">・団体からの声 「支援を通じて、タブレットやアクリル板の購入をすることができ、事業のオンライン化、感染症予防のための対策が可能となった」・子供や親たちの声 「困ったときにここ (WAKWAK) に相談すれば良いと思える場所がありホッとしている」「いろんな人たちにやさしくしてもらいこの校区に引っ越してきてよかった。」など
○団体ホームページ等	
https://wak2.jimdofree.com/	

NPO 法人 山口せわやきネットワーク [山口県]

—「コロナ禍のひとり親家庭の親と子に食事や学習」の機会を提供

○団体の主な活動内容

当法人が実施したひとり親家庭へのアンケートによると、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で「仕事及び収入が減り、食費が増え弁当配布など支援を利用した」という声が多くありました。また、心配事として「休校による学習の遅れ」など、さらに、今後あると良い支援として「子供のお昼ごはん」という結果が表れました。

それらを踏まえ、仕事や収入の減少と食費負担増に対応し、食事支援として「宅食、食事券、お米」の配布、地域の関係団体と連携した無料弁当配布とフードパントリー、長期休暇中の学童保育の弁当提供、学習支援の中でのタブレット等の利用など、これまでの活動実績を元にコロナ禍での緊急支援に取り組んでいきます。

<子供の未来応援基金の支援による活動紹介>

- ひとり親家庭を支援するため、「宅食（食料品託送）」「(地元飲食店での) 食事券」「県産米（配達）」を 330 家庭に送る。
- ひとり親家庭に対し、県内各地で市や社協と協力して、世帯の人数分の弁当を無料配布する（200 食×5 市）。
- 寄付された食料品等を、各世帯に取りに来てもらい配布する（1 回 50 家庭×3 回実施）。
- 長期休暇等の学童で希望者に弁当を無料配布する（300 食）。
- これまでの学習会にタブレットを導入して、利用方法を習得し、学力向上を図る（5 会場 20 人×30 回）。
- 全国こども食堂支援センターむすびえが医師の監修の下で作成した、弁当配布やフードパントリー実施に関わる食品衛生マニュアルを参考に、事業を実施。さらに、受取の際は、混雑して「密」の状況にならないように、間隔をあけるように声かけをして、感染防止を行う。

○活動の様子




- 団体からの声
「県内 5 市で市と市社協と連携して、これまで支援が届かなかった、ひとり親家庭に『みんなにエール！弁当』を無料配布し、『助かった』『美味しく、子供が喜んだ』などとても喜ばれた。」

○団体ホームページ等


<http://www.asuhana.org>

NPO 法人 eワーク愛媛 [愛媛県] — 困難を抱えるすべての人が自立できる共助の社会づくり

○団体の主な活動内容	○活動の様子
<p>新型コロナウイルス感染症を踏まえた学校休校に伴い、市内外のひとり親世帯の親の精神的・経済的・体力的負担を軽減するため、本年より愛媛県東予地域で母子世帯の子供を対象とした昼食弁当の無料配布を行ってきました。また、休校解除後は昼食を夕食に替えるなど、継続して母子世帯等への弁当無料配布を行っています。今後もこれらの「こども応援弁当」を継続していくほか、拠点を拡大したフードパントリーの実施、子供食堂およびテイクアウト子供食堂の開催などに取り組み、ひとり親世帯の負担軽減となる支援を続けていきます。</p>	 <p>子供食堂は、月2回、新居浜市と宇和島市で開催しています。開催ごとに定着して、口コミや SNS 等で情報が広がり、特に、若いひとり親家庭の方にも多く参加いただけています。</p>
<p><子供の未来応援基金の支援による活動紹介></p> <ul style="list-style-type: none">ひとり親家庭の子供への「こども応援弁当」事業： 一人一食分の弁当を調理し、配布（週3日・1日20食）寄付等された食料品や日用品をひとり親世帯へ無料配布： （新居浜市、宇和島市、鬼北町にて実施。各所月1回（計月3回） 1回30世帯）新たに感染症対策を講じた子供食堂の開催： 月各1回 1回40名参加（うち子供30名以上）フードパントリー開催にあたっては、ソーシャルディスタンスを守り、三密を避けた運営を行う。注意書きを会場の見やすい位置に掲示。ボランティアを含め、スタッフはマスクとフェイスシールドを着用し、会場には消毒液の設置。子供食堂は、状況を見て、テイクアウト方式で行うほか、通常開催の場合は、野外にテントを設置し、シールドで席を仕切るなどの工夫を行う。	
○団体ホームページ等	
https://eworkehime.kojyuro.com/	


一般社団法人 ひとり親家庭福祉会ながさき [長崎県]

—「ひとり親家庭生活困窮世帯等への食・学・相談」の機会を提供

○団体の主な活動内容	○活動の様子
<p>今回の新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえ、利用者から支援を求める声が寄せられています。そこで、既存事業である子供食堂においてテイクアウト事業を行います。また食材の配布や、子供たちへのオンラインの学習支援や親へのオンライン相談事業・就職支援を含めた居場所づくりを行い、ひとり親家庭生活困窮者世帯に対する総合的な支援を実施していきます。</p>	
<p><子供の未来応援基金の支援による活動紹介></p> <ul style="list-style-type: none">・子供食堂でのテイクアウト事業を実施（週1回。30食）・食材・お菓子の提供（生活困窮世帯：月2回）・ひとり親家庭生活困窮家庭を対象に学習支援およびオンライン学習支援（対面学習支援：週5日最大20名、オンライン学習支援：週1～週2回。最大10名）・ひとり親家庭生活困窮家庭への相談支援（LINE、電話（24時間）、オンライン）、食材配布（月1回）等を実施・三密にならないように、間隔を空けて食材支援の実施・相談支援を行う場合は、消毒・マスク・フェイスシールドなどの感染予防対策を行って支援・生活困窮者への衛生用品の提供（マスク、消毒ジェル）	<ul style="list-style-type: none">・団体からの声 「支援を通じて、テイクアウト事業やオンライン相談、オンライン学習支援の実施ができた」・子供や親たちの声 「テイクアウト事業は感染症対策が採られていて安心」 「オンライン学習支援は、自宅でゆっくりした気持ちで出来るから嬉しい」 「食料支援は本当に助かっているし、LINEで相談できるので相談しやすい」
○団体ホームページ等	
http://www.nagasaki-boshikai.jp	

一般社団法人 熊本私学教育支援事業団 [熊本県]

—増加する不登校・ひきこもりの子どもたちの学習支援と食育支援

○団体の主な活動内容	○活動の様子
<p>今回の新型コロナウイルス感染症の影響で、家庭にひきこもる子供たちが急増しています。そこで、家庭へ直接訪問し支援していく必要があると考えます。また、オンラインでの学習支援や教育相談の支援、各家庭でのインターネットの環境整備も必要です。さらに、日常の食事に困窮しているひとり親家庭や、生活困窮家庭への食育支援活動も必要です。支援を通じて、地域の人々とともに支えていきたいと考えます。</p>	
<p><子供の未来応援基金の支援による活動紹介></p> <ol style="list-style-type: none">①教室を増設して受け入れ人数を増やした学習支援を実施するとともに、訪問相談・学習支援も実施する（月 25 日実施。平日運営）。②オンラインでの無料相談・学習支援事業を実施する。③子供食堂に食材を取りに来てもらうほか、配達を行うなど、食育支援活動を実施する（月 2 回（第 2・4 土曜日））。④定期的に換気を行い、対面ではなく横並びで座ることや、人と人との間隔を 2m 空けるなどを行っている。⑤学習支援センターには、予防対策として、体温の検査、手指のアルコール、マスクの着用を義務付けしている。⑥日々、机・椅子・窓などの消毒や清掃をこまめに行っている。	<p>毎日のように、不登校・ひきこもりの子供たちが集まってくる。学習支援センターは、子供たちが安心して過ごせる地域の居場所となりつつある。現在、学生スタッフ 34 人、教職員スタッフ 7 名が、子供たち一人ひとりに寄り添い指導している。</p>
○団体ホームページ等	
https://kuma-shigakukyousienzisyoudan.org/	